



FEBRUARY

美奈宜の杜新聞



# 杜のたより

2018年(平成30年)2月1日 No.222

美奈宜の杜のfacebookページ みなぎのもり フェイスブックページで検索

編集・発行

西日本ビル株式会社「杜のたより」編集室

〒838-0020 朝倉市美奈宜の杜 5-12-20

TEL 0946-21-1717 FAX 0946-21-1721

<http://www.minaginomori.com>お問い合わせ資料請求は下記アドレスへ  
[info@minaginomori.com](mailto:info@minaginomori.com)

たくさんの住民の方々が収穫の応援に参加されました。



収穫についての注意点を聞いて開始です。



この日に収穫された、たくさんの柿。



あちらこちらで、収穫が進みます。続々とカゴがいっぱいになっていきます。



ひと休みして、美味しく柿をいただきました。



山肌を柿色にそめるほど、たわわに実った柿。来秋も、美味しい柿が実りますように。

## 杷木の柿園再建応援に、

## 立ち上がった杜の住民さんたち。



昨年12月の冬にしては暖かい日、九州北部豪雨の被災地、杷木古賀地区の柿生産農家・塚本さんの柿畠で、美奈宜の杜の住民40名の方々が収穫の応援をしました。今回はコミニティ協議会が計画し、西ビルの協力で実現しましたが、予想を上回る参加者で、柿園主の塚本さんは大変喜んでいただき、丁寧なお礼状が届きました。

昨年7月5日、塚本さんの自宅は家の前の谷川が氾濫して全壊。柿園に入る農道は流されて管理ができなくなり、せっかくの実りの秋も、柿の実が虫の被害を受けて傷みが酷く、出荷が厳しくなってしましました。例年以上に実がよくなり、収穫を期待していただけに、そのままにしておくには忍びなく、来秋の収穫についての注意点を聞いて開始です。

参加した住民さんからは、「生活や柿園の再建には、まだまだ苦労されるでしょう。またお手伝いすることがあれば声をかけてください」とのお言葉がありました。

この度の豪雨災害で7月以降の管理作業が出来ず、病気やカメムシの被害により収穫が終わらず、来年度の生産に影響がでるのではと心配をしていました。何日間も、多くの皆様のおかげで助かりました。併せて、たくさんのお舞いをいただきありがとうございます。本来の姿を見ていたためにも、くらしの再建と併せて営農再開の準備をしています。頑張ります。良きご縁をいただいたと思っています。本当に感謝をしています。ありがとうございました。

美奈宜の杜の皆様へ

“ありがとうございました”

この度の豪雨災害で7月以降の管理作業が出来ず、病気やカメムシの被害により収穫が終わらず、来年度の生産に影響がでるのではと心配をしていました。何日間も、多くの皆様のおかげで助かりました。併せて、たくさんのお舞いをいただきありがとうございます。本来の姿を見ていたためにも、くらしの再建と併せて営農再開の準備をしています。頑張ります。良きご縁をいただいたと思っています。本当に感謝をしています。ありがとうございました。



〒838-1513  
朝倉市杷木古賀 1285  
塚本博之 美智子

塚本さんからの素敵なお札状。

平成29年 九州北部豪雨支援

## 美奈宜の杜恒例「福祉餅つき大会」

昨年12月24日、毎年恒例の美奈宜の杜社会福祉協議会を中心とした有志の皆さんのが主催する「福祉餅つき大会」が開催されました。

当日は雨の予報が出ていたのですが、最後まで雨も降らず、大勢の参加者でにぎわいました。

今年も60キロのもち米が用意され、早朝からコミュニティセンターで準備がスタート。午前8時半からよいよ餅つきがスタートし、22臼ものお餅をつきあげました。当日は“ふるまい”が用意され、大根おろし餅やきなこ餅、あん餅、納豆餅などに調理され、つきたての餅の美味しさに訪れた住民さんたちが大盛り上がり！当初予定していた餅だけでは足りず、あわ



続々と餅米が蒸しあがります。



蒸しあがった餅米が臼に移され準備完了。



つく前の、この行程が重要。



かけ声と共に、お餅がつきあがります。



文化教室



てて追加の餅をつく場面も。  
つきあがった餅は、住民の皆さんに販売され、美奈宜の杜のお正月の家庭を彩りました。



子供たちも、飛び入り参加。



つきたての餅をおいしくいただきました。



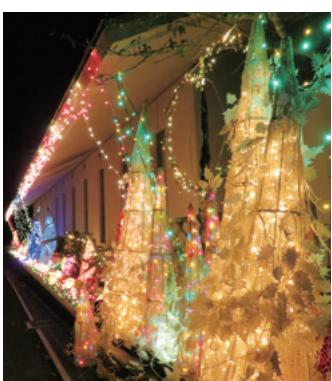
参加された皆さんに、つきたての餅がふるまわれました。



手際良くまる餅にします。



次々にパック詰めされます。



イルミネーションは美奈宜の杜の冬をキラキラと彩りました。

昨日は美奈宜の杜で暮らす子どもたちが訪れ、点灯式に参加。サンタさんからのプレゼントのほかに、住民の方から温かい焼き芋のプレゼントも届けられ、子どもたちはみんな満面の笑みを浮かべていました。

当日は美奈宜の杜で暮らす子どもたちが訪れ、点灯式に参加。サンタさんからのプレゼントのほかに、住民の方から温かい焼き芋のプレゼントも届けられ、子どもたちはみんな満面の笑みを浮かべていました。

### ウインターイルミネーション点灯式

昨年12月1日、美奈宜の杜

ウインターイルミネーションの季節が到来！

コミュニティセンターのまわりに用意された、色とりどりのクリスマスマツリーを輝かせるイルミネーションの点灯式が行われました。

## クリスマスコンサート

昨年12月10日、美奈宜の杜コミュニティセンター杜のサロンで、クリスマスコンサートが開かれました。

当日は、おなじみのジョイフルクワイイヤーの皆さんや、音づくりの会のメンバーが集結。クリスマスシーズンを彩る、賛美歌やクリ

スマスソングの数々を披露してくれました。

季節を彩る音楽は、幼いころの思い出が蘇るようで、皆さん、笑顔に包まれていました。すっかり定着したクリスマスコンサートは、美奈宜の杜の風物詩になりました。



**被災地に息づく歴史を辿る「歴史探訪バスツアー」**

昨年12月12日、朝倉市教育委員会文化課の乙藤慎さんが講師を務める歴史講座の一環として、「歴史探訪バスツアー」が開催されました。

当日のコースは、九州北部豪雨で被災した朝倉市内の文化財3カ所を教育委員会の専門家とともに巡るというもの。見学したのは荷原川の氾濫で流失した本堂（杷木志波）、再生が心配されるキンメイチク群生地（杷

木寒水）の3カ所。豪雨被害から半年近くがたっていたにも関わらずなかなか進まない復興の様子に、参加者24名は文化財保護の大切さを痛感した歴史講座となりました。



前日から竹で櫓を組み上げ、当日住民さんが持ち寄ったお正月飾りやしめ縄などをその中に入れて、点火準備は完了。会場に集まつた住民さんがまずは集合して記念撮影をし、続いてお酒やビールで乾杯してから、よいよ点火です。

威勢よく燃え上がつたどんど焼きの炎を眺めながら、家内安全と無病息災をそれぞれに祈りました。

「どんど焼き」が開催されました。

## どんど焼き

1月14日、早朝からコミュニティセンターにおいて、美奈宜の杜地区コミュニティ協議会主催の「どんど焼き」が開催されました。

その後、住民の皆さんのご協力で焼き立ての餅を入れた、熱々のせんざいが振る舞われ、冷えた体を皆さん温めていました。



